連載企画

医師と医療連携室がタッグ！

「鹿児島医療連携」の現場

医師同士、そして医療連携室の円滑な連携をはかりながら、
鹿児島の患者さんを支えるため積極的に取り組んでいます。

基（もとい） 俊介（しゅんすけ） 医師

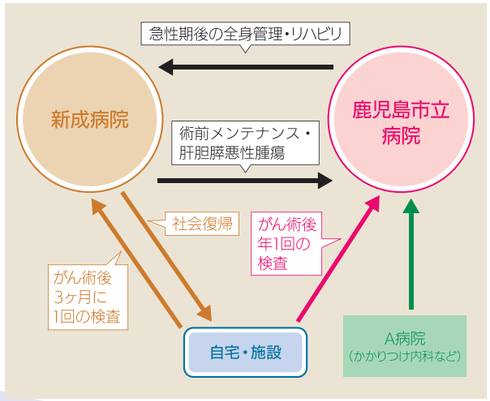
一般財団法人 児玉報謝会 新成病院

日本外科学会外科専門医／日本消化器外科学会 消化器外科専門医／日本がん治療認定機構 がん治療認定医／日本消化器病学会／日本大腸肛門病学会／日本内視鏡外科学会／日本臨床外科学会／臨床研修指導医／緩和ケア研修修了／Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant／日本医師会認定 健康スポーツ医

密な連携でお互いをサポートしあう関係

飯野　貴院にはいつもお世話になっていて、急性期術後のドレーンを含む全身管理や食事管理、そしてリハビリなど、自宅や施設に帰るまでのサポートを手厚くしていただいています。また術前のヘパリンブリッジなども貴院入院で対応していただき、術前日に当院に転院していただくよう連携しています。

基　市立病院は入院期間が限られていますし、バックアップの対応に努めています。侵襲が大きいと合併症も多くなりすぐには自宅に帰れないので、術後の合併症が改善するまで患者さんに寄り添って治療を行っています。逆に肝胆膵の悪性腫瘍の患者さんは、こちらから貴院へ紹介しています。



飯野　術後落ち着いたがん術後患者さんの定期フォローもお願いしています。もちろん年1回は当院でもフォローしますが、3ヶ月に1回の定期検査は貴院にお願いできるので当院の課題である外来混雑の緩和、患者さんの負担減を含めてとても助かっています。またがん以外の腸閉塞や消化管穿孔など緊急オペの患者さんも、術後の連携をお願いしています。

信頼して任せられる、市内でも貴重な病院

飯野　消化器外科の亜急性期の受け皿となってくれる病院は市内で少ないので、貴院はとても貴重な病院です。基先生ならドレーン管理抜去までお願いできるので本当に心強いです。

基　安心していただけるならうれしいです。ドレーンを抜くタイミングや管の調整は、やはりある程度キャリアがないと難しいですからね。看護師を含めスタッフも知識と経験を積んでいるので、みんな意識が高いと思います。

飯野　基先生は以前市立病院で一緒に働いていたこともあり、連携する際は先に直接電話で話してから連携室に送っていますね。

基　はい。直接話した方が早いですし、話を事前に聞いていた方が準備しやすいので当院としても助かります。私の方が後輩ですが、飯野先生は話しやすく意見交換もしやすいので、文面だけの連携よりも内容が深まると思います。

新病院移転後もさらによい連携を目指して

基　今も十分よい連携がとれていますが、今後は「貴院で手術を希望しているものの、スケジュール的に早く手術したい」という患者さんをご紹介いただき、患者さんのご都合に合わせてフットワークよく手術ができればと考えています。

飯野　そういえば貴院は移転されるそうですね。徒歩圏内の近さだった距離が少しだけ遠くなりますが、これまでと同様に連携を深めていきたいです。

基　はい。今年10月に与次郎へ移転します。新病院はリハビリ室も広くなり、桜島ビューの屋上でもリハビリが可能です。よりよい環境で患者さんをお受けできるので、これまで築いた関係性をもとにさらによい連携ができるよう尽力してまいります。

飯野　これからも鹿児島の患者さんを一緒に支えていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

飯野（いいの） 聡（さとし） 医師

鹿児島市立病院／消化器外科 科長

日本外科学会 専門医・指導医／日本消化器外科学会 専門医・指導医／日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医・評議員／日本がん治療認定医機構 認定医

「医療連携室」も密に　連携し患者さんをサポート

新成病院 地域医療連携室
室長／看護師／
ケアマネージャー
林 さん

市立病院さんとの連携はCARE BOOKに加え、電話でも直接話します。当院から自宅へ帰られる際には食事がネックになることが多いため、しっかりと栄養指導をしています。退院が不安な患者さんには訪問診療を行っていることを伝えると、安心される方が多いです。市立病院から当院、当院からご自宅へと切れ目のないサポートを行いたいです。

鹿児島市立病院
医療連携・入退院センター
医療ソーシャルワーカー
橋口 さん

4月に入職したばかりなので、日々さまざまな方にサポートしていただいています。新成病院さんへ連携する際は、現在の食事の固さなど患者さんの情報をしっかりと伝えています。また患者さんにも新成病院さんの質のいいリハビリについてお伝えし、安心して転院できるようサポートしています。

急性期病院同士の連携も深めたい

当院の消化器外科の患者さんのうち、約4分の1は救急搬送されてきます。消化器外科のドクターがいたとしても、他の科で救急患者を受け入れると、手術室が満室になることもあります。急性期と回復期の連携だけではなく、急性期同士のネットワークも大切にしていきたいです。

一般財団法人 児玉報謝会 新成病院

ホームページ

診療科目　※診療時間は各科により異なります。詳細はホームページをご覧ください。

内科／循環器内科／消化器内科／糖尿病内科／外科／心臓血管外科／消化器外科／肛門外科／内視鏡外科／麻酔科／リハビリテーション科／人間ドック

■住所／鹿児島市上荒田町16-30　■TEL／099-254-333
■URL／https://sinsei-hp.or.jp　■駐車場／有
■アクセス／市電「中洲通り」徒歩10分

新成病院は2025年10月、移転予定です。

移転先新住所
鹿児島市与次郎1丁目2-11